

八学短大で現代美術ワークショップ

不要品きれいにメイク

装飾、化粧し作品制作

あすから写真展も

八戸学院大短期大学部で21日、アーティストの岩井優さん(43)を講師に、現代美術ワークショップ「きれいにする。」が開かれた。参加者は生活の中で不要になった物を持ち寄り、化粧品などでメイクして作品を創作した。日常生活の中で「きれいにする」という言葉で表現される、洗う、化粧するなどの行為。参加者は創作を通して「きれいにする」ことの意味を考えた。(田村純也)



参加者が創作した作品の数々

さまざまな個性を受容で立てたという、同学科2年きる人材育成を目的に、同の岩淵のあさん(20)は「捨学部幼児保育学科の池田拓馬講師(34)が企画。同学部が、こんなに変わるなんて」の学生や市民ら36人が参加と感慨深げだった。

参加者が持ち寄った物は、ペットボトル、腕時計、靴などさまざま。岩井さんのアドバイスを受けながら、マニキュアやビーズ、つけまつげなどを用いて思い思いに創作していた。

長年聴いていたCDを、マニキュアなどで作品に仕立てたという。期間は来年2月1日まで(土日祝日、12月29日～1月6日、1月17～20日は休館)。時間は午前10時～午後5時。入場無料。